

トピックス

新規研究課題「多様化する消費形態に対応した新花き生産技術開発」

近年、切り花の需要は一般家庭用の比重が高まり、産地に対しては日持ちがよく、多種多様な切り花の安定供給が求められています。和歌山県の切り花生産は、主としてパイプハウスを利用した冬春作を中心に伸びてきましたが、シュコンカスミソウなど主要品目の価格低迷が続いており、より収益性の高い新品目の導入が望まれています。一方、県内の一部地域ではほ場整備が進み、気象災害を受けにくい耐候性ハウスが導入されつつあります。これらの施設には、周年生産可能で作業性に優れ、かつ高い収益が見込める品目の導入が求められます。



ホームユースにも適するLAハイブリッド系ユリ

暖地園芸センターでは、今年度から3カ年計画で、近年需要が高まっているシネンシス系品種を中心としたデルフィニウムの高品質多収生産技術並びに、耐候性ハウスの利点を活かした球根切り花の低コスト周年生産技術開発に取り組みます。デルフィニウムでは、本県に適した肥培管理技術、温度管理技術等を明らかにし、新たな作型を開発して様々な営農形態への導入をめざします。また、球根切り花では、LAハイブリッド系ユリを中心に有望品目・品種を選定し、球根養成を兼ねたホームユース用切り花生産作型の開発、球根の植え付けおよび掘り上げの機械化による省力化を図り、耐候性ハウスの効率的利用と経営の安定化をめざします。

(園芸部 伊藤吉成)

お知らせ

1. 人事異動（平成16年4月1日付）

| 転出 旧職名 | 氏名 | 新所属名 |
|-----------|-------|-------------------|
| 事務次長 | 平野 定男 | 出納室日高分室長 |
| 総括研究員 | 菅井 晴雄 | 果樹試験場長 |
| 総括研究員 | 平岡 潔志 | (独)近畿中国四国農業研究センター |
| 育種部長 | 中西 敏 | 日高地域農業改良普及センター次長 |
| うめ部長 | 細平 正人 | 果樹試験場栽培部長 |
| うめ部主任研究員 | 林 純一 | 果樹試験場うめ研究所副所長 |
| 育種部副主査研究員 | 花田 裕美 | わかやま産業振興財団主査研究員 |
| うめ部副主査研究員 | 三宅 英伸 | 果樹試験場うめ研究所副主査研究員 |
| うめ部副主査研究員 | 上門 洋也 | 果樹試験場うめ研究所副主査研究員 |
| うめ部研究員 | 大江 孝明 | 果樹試験場うめ研究所副主査研究員 |
| うめ部研究員 | 行森 啓 | 果樹試験場うめ研究所副主査研究員 |
| うめ部研究員 | 根来 圭一 | 果樹試験場うめ研究所副主査研究員 |
| うめ部研究員 | 林 恭平 | 果樹試験場うめ研究所研究員 |
| うめ部研究員 | 城村 徳明 | 果樹試験場うめ研究所研究員 |
| うめ部研究員 | 桑原 あき | 果樹試験場うめ研究所研究員 |
| うめ部現業技能員 | 又曾 正一 | 果樹試験場うめ研究所現業技能員 |
| 所長 | 和田 年裕 | 退職 |
| 転入 新職名 | 氏名 | 旧所属名 |
| 所長 | 小沢 良和 | 果樹試験場総括研究員 |
| 育種部長 | 藤岡 唯志 | 農業試験場栽培部主任研究員 |

2. 平成16年度主な行事予定

- ・ 11月 切り花の品質保持技術に関する研究会
- ・ 平成17年1月下旬 スターチス品種検討会
- ・ 3月上旬 農業技術成果発表会